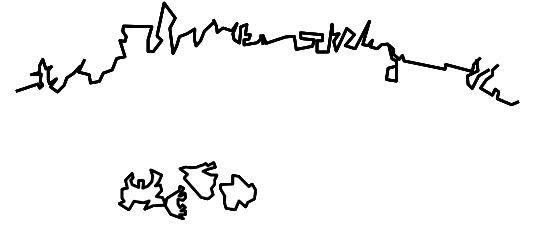


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 5 号)

2019年11月25日発行
兵庫のみ研究所

水温図



この海域沿岸域を中心に増殖が見られていたユーカンピアは減少しており、地先漁場の栄養塩は、前回(11/15)調査より少し回復した値となっています。沖合漁場では、珪藻は前回同様に少なく、窒素は概ね4~5 $\mu\text{g at / L}$ 台となっています。

(**栄養塩、珪藻**) 地先漁場において、コシノディスカスは一部で海水1Lあたり100細胞前後見られているが、ユーカンピアは海水1mlあたり多くても100細胞まで(前回:300細胞前後)に減少しており、窒素は概ね2 $\mu\text{g at / L}$ の値を示した。沖合漁場において、コシノディスカスは家島地区で多くて30細胞、ユーカンピアを含めそれ以外の珪藻はわずかに確認された程度で、窒素は概ね4~5 $\mu\text{g at / L}$ であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.7	1.6	6.6	9.2
	リン	0.46	0.44	0.66	0.74
家島・坊勢	窒素	4.0	4.6	5.7	7.0
	リン	0.72	0.77	0.70	0.66

(11/15) (11/26)

栄養塩 (窒素) 図

20019年11月25日調査

